

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17100002	装着型全方位ステレオ監視システムの提案	八木 康史 (大阪大学・産業科学研究所・教授)	A
<p>研究代表者の独自のアイデアによる全方位センサを小型化し、それを装着することにより個人の周囲状況の監視を行うという、独自性の高い研究課題に対して、当初挙げたすべての研究課題に対して、着実に成果を上げている。多数の論文発表を行っており、難易度の高い国際会議や論文誌に論文が採択されているだけでなく、複数の受賞や新聞報道もあり、研究業績の高さを示している。</p> <p>当初目標とした成果は見込まれるが、本研究は提案方式の可能性の確認を中心としたものであり、実用化にはセンサの身体への装着法、認識対象物の範囲の拡大、認識精度の向上など多数の課題が残されている。本研究のような、カメラによる視覚センサを用いた認識に基づくシステムでは、実験室内のような限られた環境では期待通りの成果が得られても、実環境では同様の性能を引き出すことが困難な場合が多い。このような問題を着実にクリアし、総合評価で実用化への可能性を着実に実証することを期待したい。</p>			